

農 村 地 域 防 災 減 災 事 業

(緊急防災等工事計画書)

に 上
仁宇のため池 地区

徳 島 県

緊急防災等工事計画書 目次

第 1 章	目的	1
第 2 章	地域及び地積	1
第 1 節	地域	1
第 2 節	地積	1
第 3 章	現況	2
第 1 節	気象及び海象	2
1	一般気象	2
2	特殊気象	2
3	海象	2
第 2 節	土地状況	3
1	地形、土壌及び侵食の程度	3
2	土地分類	4
3	土地利用の状況	5
4	土地所有の状況	5
第 3 節	水利状況	6
1	用水状況	6
2	排水状況	9
3	河川状況	10
第 4 節	道路現況	11
1	道路概況	11
2	主要道路一覧表	11
第 5 節	地域農業の概況	12
1	産業別就業人口	12
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業業別農家数	12
3	動力農機具及び主要家畜頭数	13
4	主要作物作付状況	13
5	農業の動向	14
第 6 節	地域環境の概況	15

緊急防災等工事計画書 目次

第4章	一般計画	16
第1節	事業計画の要旨	16
1	要旨	16
2	事業別面積	17
第2節	営農計画及び土地利用計画	17
1	営農計画の概要	17
2	土地利用区分	17
3	作付方式	18
4	生産計画	19
5	労働改善計画	19
6	級地別土地利用区分	20
7	土地配分計画	20
第3節	用水計画	21
1	計画基準年	21
2	計画かんがい方式	21
3	計画用水系統	21
4	計画用水量	21
5	水源計画	22
第4節	排水計画	25
1	計画基準雨量	25
2	計画排水方式	25
3	計画排水系統	25
4	計画排水量	25
5	排水対策	26
6	湛水検討	27
第5節	道路計画	28
1	道路及び索道	28
2	路線配置図	28

緊急防災等工事計画書 目次

第 6 節	農用地造成計画	29
1	農用地造成計画	29
2	土壌改良	29
第 7 節	洪水調節計画	29
1	計画基準雨量	29
2	計画洪水量及び調節量	29
3	貯水池	29
4	洪水調節検討	30
5	管理計画	30
第 8 節	干拓計画	30
第 9 節	農用地整備計画	30
1	区画整理	30
2	暗渠排水	31
3	客土	32
4	農地保全	32
第 10 節	老朽ため池改修計画	34
1	総括表	34
2	洪水吐改修計画	35
3	堤体補強計画	36
4	取水施設改修計画	36
5	管理施設改修計画	36
6	その他関連事項	36
第 5 章	主要工事計画	37
第 1 節	用水施設	37
1	貯水池	37
2	頭首工	37
3	揚水機	37
4	用水路	38
5	その他かんがい施設	38
第 2 節	排水施設	38
1	排水水門	38
2	排水機	38
3	排水路	39
4	その他排水施設	39

緊急防災等工事計画書 目次

第 3 節	道路及び索道	39
1	道路	39
2	索道	40
第 4 節	農用地造成	40
1	農用地造成	40
2	土壌改良	41
第 5 節	洪水調節施設	41
1	貯水池	41
2	頭首工及び導水施設	41
第 6 節	干拓施設	42
1	堤防	42
2	潮止め	42
3	付属施設	42
4	埋立	42
第 7 節	農用地整備施設	43
1	区画整理	43
2	暗渠排水	43
3	客土	44
4	除礫	44
5	農地保全	44
第 8 節	老朽ため池改修施設	45
1	貯水池	45
2	堤体補強施設	45
第 6 章	附帯工事計画	45
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	45

緊急防災等工事計画書 目次

第 8 章	環境との調和への配慮	46
第 9 章	換地計画の概要	47
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	47
第 2 節	換地区の設定	47
1	換地区の名称、所在、面積	47
2	換地区を設定する理由	47
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	47
1	従前の土地の面積の基準	47
2	用途別予定地積	47
3	農用地集団化の方針	48
4	非農用地の換地方法	48
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	48
1	評価の方法	48
2	清算の方法	48
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	48
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	48
第 10 章	事業費の総額及び内訳	49
第 11 章	効用	50
第 12 章	関連する事業	50
第 13 章	現況・計画図面	50
1	現況平面図	51
2	計画平面図	52
3	主要構造図	53
第 14 章	土地改良施設の管理者及び管理方法	56
1	予定管理者	56
2	管理すべき施設の種類	56
3	貯水、放流、配水に関する基本的事項	56
4	施設管理に要する費用の概算及び負担方法	57

第1章 目 的

(1)必要性

仁宇のため池は、徳島市の南方25km那賀町仁宇に位置し、大正時代以前に築造されたため池である。本ため池は耐震性能が不足しているとともに、堤体の余裕高不足及び洪水吐の能力不足で降雨時には水位が堤頂付近まで達する可能性があり、決壊の恐れがある。農業用水の安定取水と地域防災の安全率向上を図るために、早急な改修を行う必要がある。

(2)緊急性

ため池の下流部には人家などがあり、現状のまま放置すれば、台風・梅雨等の豪雨時及び大地震の際には堤体決壊による人命被害が生じる恐れがあるため、早急に対策工事を実施しなければならない。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農村地域防災減災事業	ため池 那賀郡那賀町仁宇学原
	受益地 那賀郡那賀町仁宇学原

第2節 地 積

(令和6年10月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農村地域防災減災事業	那 賀 町	3.6					3.6	関係戸数25戸
合 計		3.6					3.6	関係戸数25戸

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福原旭観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	昭和51年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(°C)		-	-	-	地域雨量観測所(降水量のみ)
降水量	平均 (mm)	474.4mm	146.8mm	3,204.0mm	
	基準年 (mm)	-	-	-	
降水日数	平均 (日)	16日	11日	154日	
	基準年 (日)	-	-	-	
根雪期間			-		
無霜期間			-		
最多風向		-	最大風速	- m/s	徳島气象台 : 福原旭観測所 発生年月日 : -

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福原旭観測所	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数 量	年 月 日	発 生 確 率													
観測期間 昭和51年～令和6年																
最大日雨量 (mm)	641.5	H23.7.19	1/90	532.5	H23.9.2	1/25	523.0	H9.9.16	1/25	516.0	H16.7.31	1/20	479.0	H2.9.19	1/15	
最大時間雨量 (mm)	97.0	S54.9.30	1/60	96.0	S63.8.13	1/60	83.5	R6.8.29	1/20	81.0	H5.11.13	1/15	79.0	S62.10.16	1/15	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続干天日数 (日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位
観測期間	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)

第2節 土地状況
1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高		備考		
		1/1000	1/1000 ~	1/100 ~	1/20 ~	1/11.5	計	3° 以下	3° ~ 8°	8°~15°			15° ~ 20°	20° 以上	計		最高 m	最低 m
農村地域防災減災事業	面積 (ha)			3.6			3.6										67.8	51.7
	比率 (%)			100			100											
合計	面積 (ha)			3.6			3.6										67.8	51.7
	比率 (%)			100			100											

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表								面積(ha)		備考		
	土壌断面								事業名				
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層	推積様式	母材		農村地域防災減災事業	計
					表土	下層土							
一層					二層	三層							
粘土集積赤黄色土(G1)	赤色・黄色	あり	あり	あり	壤質	壤質	粘質	あり	残積	固結水成岩	3.6	3.6	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0~25%	25%~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 一級地 (ha)	農用地造成									計 (ha)	備考
		二級地			三級地			四級地				
	※ (ha)	3°~8° (ha)	8°~12° (ha)	12°~15° (ha)	※ (ha)	15°~20° (ha)	20°~25° (ha)	25°~30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
計												※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別 一級地 (ha)	干拓				計 (ha)	備考
		二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
計							

3 土地利用の状況

(令和6年10月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕地(ha)								山林(ha)		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田(ha)		普通 畑	牧草 畑	果樹 園	桑園	茶園	その他 の 樹園地	用地 林	薪炭 林					
		1毛作 田	2毛作 田以上													
農村地域防災減災事業	那賀町	3.6												3.6		
合計		3.6												3.6		

4 土地所有の状況

(令和6年10月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有地	国有地	県有地	市有地	計	備 考
		農村地域防災減災事業	面積(ha)	3.6ha			
	関係戸数(戸)	25戸				25戸	
	筆数(筆)						
	権利関係	個人				個人	
	備考(受益者数)	25人				25人	
合計	面積(ha)	3.6ha				3.6ha	
	関係戸数(戸)	25戸				25戸	
	筆数(筆)						
	権利関係	個人				個人	
	備考(受益者数)	25人				25人	

第3節 水利状況
1 用水状況

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量		備考
		20 ha以上		20 ~ 5 ha		5 ha以下		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	箇所	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha									
農村地域防災 減災事業	井 堰															
	自然取水口															
	貯水池					1	3.6	1	3.6							
	揚水機															
	その他															
	計					1	3.6	1	3.6							
合 計					1	3.6	1	3.6								

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
農村地域防災減災事業	井 堰							
	自然取水口							
	貯水池	1	3.6	均一型	堤高 11.0m 堤長 60.0m 堤天幅 7.0m	不明	堤体耐震性能の不足 堤体の余裕高不足 洪水吐の能力不足	丹生川
	揚水機							
	その他							
合 計	計	1	3.6					

(3)用水に関する被害状況
 (ア)用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 施設名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m3)	不足水量				平均減産量 (t)	
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)
				平均 (m3/S)	基準年 (m3/S)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)		
	計								
合計									

(イ)その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額						人命	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
農村地域防災減災事業	3.6	-	10.5	14.1	1,464	-	133,806	231,285	1,108,768	1,475,323	6	
合計	3.6	-	10.5	14.1	1,464	-	133,806	231,285	1,108,768	1,475,323	6	

(5)原因究明 本ため池は大正時代以前に築造されており、堤体の余裕高及び洪水吐の能力が不足している。このため、万一決壊した場合には、下流 14.1haの人家や、農地、一般施設等に被害を及ぼす恐れがあり、本ため池の下流住民への被害防止のため緊急に補強対策工事を実施しなければならない。

2 排水状況
 (1)排水系統 ー

(2)排水施設
 (ア)排水方法一覧表 該当なし

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積				計		排水慣行	現況排水能力 (m3/s)	備考
			500ha以上		499~100ha		99ha以下				
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所			
	自然	排水路									
		水門									
	機械	排水機									
		水門及び排水機									
		排水路及び排水機									
	計										
合計											

(イ)改修を要する施設の一覧表 該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		箇所数	構造	規模	新設又は更新	改修を必要とする	備考
	施設名					年月日	理由	
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
合計								

(3)排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	たん水状況 乾 湿 状況 (ha)										平均 減産量 (t)	平均維持 管理費 (千円)	備考
				たん水 深 (cm)	たん水 時間 (hr)	たん水 面積 (ha)	たん水 量 (千m3)	田		畑		その他				
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均 基準年													
	計		平均 基準法													

3 河川状況
(1)河川状況

該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	こう配	断面	安全洪水量 (m3/S)	既往最大洪水量 (m3/S)	備考

(2)洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1 道路概況

—

2 主要道路一覧表

該当なし

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

令和2年国勢調査より (第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	郵便業 運輸業 (人)	卸売小売業 宿泊飲食サービス業 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考	
																	備	考
那賀町		3,434	507	106	6	1	474	472	19	92	426	25	11	379	181	735	令和2年国勢調査	
計		3,434	507	106	6	1	474	472	19	92	426	25	11	379	181	735		
比率(%)		100.0%	14.8%	3.1%	0.2%	0.0%	13.8%	13.7%	0.6%	2.7%	12.4%	0.7%	0.3%	11.0%	5.3%	21.4%		

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

2020年農林業センサスより (第7表-2)

市町村名	区分	農家総戸数 (戸)	自給的農家 (戸)	経営耕地広狭別農家数(経営体)										1戸当平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備考									
				例外規定の適用を受けるもの	0.3 ha未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当団地数	団地当面積 (ha)		専業	兼業							
																									第1種	第2種						
那賀町		972	465	2	92	181	172	41	11	3	2	3	-	-	0.53	0.16	0.29	0.98	-	0.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		972	465	2	92	181	172	41	11	3	2	3	-	-	0.53	0.16	0.29	0.98	-	0.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比率(%)		100.0%	47.8%	0.2%	9.5%	18.7%	17.7%	4.2%	1.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	54.1%	16.3%	29.6%	100.0%		100.0%												

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜								備考		
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏			ブロイラー	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (羽)	戸数 (経営体)		数量 (羽)	戸数 (経営体)
那賀町	-	-	-	-	-	-	x	1	x	1	-	-	-	-	-	-	2020年農林業センサス
100戸当数量 (台、頭)	-		-		-		x		x		-		-		-		
利用戸数割合 (%)	-		-		-		x		x		-		-		-		

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	那賀町						計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	691						691			
区分 作物名	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)		
水稻	118	429					118	429	17.1%	中国四国農林水産統計 データ集(令和3年～)
その他	573	-					573	-	82.9%	
計	691						691		100.0%	
市町村別 延作付率 (%)	100.0%						100.0%			

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化 指数) の 状 況 変 化 の 理 由	総農家数	86	70	耕 地	77	77	水稲	74	61	乳用牛	-	-	耕うん機及 びトラクター	80	-	過疎 特定農山村 A:2020年農 林業センサ ス B:2015年農 林業センサ ス C:2010年世 界農林業セ ンサス	
	専業農家数	94	-	田	79	55	稲(飼料用)	-	-	肉用牛	-	-	動力防除機	-	-		
	第1種 兼業農家数	61	-	畑	95	115	小麦	-	-	豚	-	-	動力田植機	65	-		
	第2種 兼業農家数	72	-	樹園地	71	65	だいこん	-	-	採卵鶏	-	-	コンバイン	69	-		
	農 業 従事者数	74	35	草 地	-	-	はくさい	-	-	ブロイラー	-	-	バインダー	-	-		
変 化 の 理 由	総農家数及び農業従事者数の減少は、農業従事者の高齢化や、後継者不足により農業法人化が進んだことによる。			農業法人化により畑は増加しているが田、樹園地は減少している。			農業従事者の高齢化や後継者不足により主要作物において減少傾向となっている。			飼育者の高齢化や、後継者不足、農業法人化により減少している。			農業法人化により農家戸数が減少したため農業用機械の保有台数も全体的に減少している。				

第6節 地域環境の概況

仁宇のため池は、徳島市の南方約25kmに位置し、山地と那賀川に挟まれた谷筋に築かれた谷池である。

背後の山林の麓に立地し、この地域の水利において極めて重要な役割を担っている。

ため池の主たる機能は、山地から流れ込む水を集水し、農業用水を安定的に確保・供給することにある。

下流の受益地には集落と農地が広がり、用水路を通じて供給される水によって、稲作を中心とした農業が営まれている。

水系の流れとして、ため池の余水は、底樋および洪水吐きからの放水として丹生川へ流出する。その後、阿井川を経て、最終的に一級河川である那賀川へと流入する水系を構成している。

このように、本ため池は、地域の農業を支える基盤であると同時に、那賀川水系の一部を構成する重要な施設である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

(第8表-1)

項 目	事 業 を 必 要 と す る 理 由	改 良 補 強 工 法	備 考
洪水吐	洪水吐は排水能力が不足している。	側水路式 コンクリート三面張 B=13.7m	
堤体又は、基礎からの漏水状況	—	—	
堤 体	堤体耐震性能が不足している。 堤体余裕高が不足している。	堤体法面勾配(上流側)1:2.8→1:2.5 ,(下流側)1:1.5→1:2.3 法面保護工 上流側:ブロックマット 天 端 幅 7.00 m → 4.40 m	
その他被災歴・改修歴・ため池依存の状況等特記事項	—	—	
他 事 業 関 係	—	—	

2 事業別面積

(第8表-2)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業															計 (ha)	備考						
	田 (ha)	輪 換 地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	樹 園 地 (ha)	小 計 (ha)	田 (ha)	輪 換 地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	樹 園 地 (ha)	小 計 (ha)	田 (ha)			輪 換 地 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	樹 園 地 (ha)	小 計 (ha)	
災害防止	3.6						3.6															3.6	
計	3.6						3.6															3.6	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

—

2 土地利用区分

該当なし

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪換地	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	樹園地	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)												
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況													
	計画													

4 生産計画

該当なし

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収量増加			
	田・畑	表作																	
	計																		
	田・畑	裏作																	
計																			
合計																			

5 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/ha)			備考	
				区分	現況	計画		増減
				区分				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				計				
合計								

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	換換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備 考
		田	換換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			
増反 入植									

(2) 用水対策
(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /S)	間接流域 最大取水量 (m ³ /S)
	直接	間接	農村地域防災減災事業							
					計					
仁宇のため	0.722	-	3.6		3.6	36.0	59.2	1.6	0.022	-

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量		備 考
			事業名			最大 (m ³ /S)	平均 (m ³ /S)	
					計			

(ウ) 揚水機 該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機			備 考	
		事業名			最大 (m ³ /S)	平均 (m ³ /S)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /S)	台数 (台)		全揚水量 (m ³ /S)
				計							

(エ)用水路

該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)			最大通水量 (m ³ /S)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	用水路		計				

(オ)その他の水源施設

—

(3)水温水質

—

5 排水対策
 (1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名		計	排 水 量 (m ³ /S)	地区内たん 水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
計										

(2)排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名		計	排 水 量 (m ³ /S)	地区内たん 水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /S)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /S)	
計											

第5節 道路計画
 1 道路及び索道
 (1)道路

該当なし

(第12表-1)

項目 路線名	幅×延長(m) (有効)	構造	既設道路との関係	備考

(2)索道

該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考

2 路線配置図

—

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

(1)農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

項目 区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2)末端道水路配置図 -

2 土壤改良 該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Yt)	りん酸吸収 係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石炭 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 -

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域 面積 (km ²)	洪水 到達時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /S)	安全 洪水量 (m ³ /S)	必要 調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節量 (m ³ /S)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /S)	調節後 最大流量 (m ³ /S)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /S)	有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)	計画調節 流量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)							

- 4 洪水調節検討
 - (1)河川改修計画との関係 —
 - (2)洪水調節が下流に及ぼす影響 —
 - (3)計画基準雨量以外の降雨についての検討 —

- 5 管理計画
 - (1)管理機構 —
 - (2)ダム管理操作上の各種基準 —
 - (3)洪水調節要領 —

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離	風速 (m/S)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

- 1 区画整理
 - (1)区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積(ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差	備考

(2)表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
計				

(3)末端導水路配置図 -

2 暗渠排水

(1)暗渠排水 該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/S/ha)	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
	事業名		計						
計									

(2)心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名		計			
計						

3 客土 該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積(ha)			減水深(mm/day)	作土の厚さ(cm)		10a当り 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
	事業名	計	土壤統 (区)名		現況 平均	計画 平均		受益地 (m3)	採土地(客土 材料) (%)	
計										

4 農地保全
(1)防災林 該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速(m/s)	幅(m)	間隔(m)	備考

(2)排水工 該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/day)	土柱	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m3/S/ha)	全排水量 (m3/S)	

(3)侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1 総括表

(第17表-1)

名称		仁宇のため池				位置	那賀郡那賀町仁宇学原					
堤 体	現況	形式	堤高	堤長	堤頂幅	堤体積	総貯水量	有効貯水量	堤頂標高	満水面標高	満水面積	有効貯水量／総貯水量
		均一型	m	m	m	千m3	千m3	千m3	m	m	ha	
	計画	遮水シート型	m	m	m	千m3	千m3	千m3	m	m		
洪水吐	法面勾配		法面保護工			備					考	
	現況	上流 1 : 2.8 下流 1 : 1.5	土羽 土羽									
	計画	上流 1 : 2.5 下流 1 : 2.3	ブロックマット 土羽									
取水施設	現況	形式	構造		洪水吐能力	越流水深	越流堤長	敷標高	ゲート	計画雨量	流出率	設計洪水量
		側水路型	コンクリート三面張		m3/s	m	m	EL m	幅 - m 高 - m	mm/hr		m3/s
	計画	側水路型	コンクリート三面張		m3/s	m	m	EL m	幅 - m 高 - m	mm/hr		m3/s
取水施設	斜樋又は樋				底樋			取水量	地質	基礎処理	仮排水工	流域面積
	形式	径	長さ	形式	径	長さ						
	現況	斜樋	φ 100 3孔	m -	底樋	φ 800 -	m -	m3/s 0.022	礫質土	-	-	km2 0.7220
	計画	スライドバルブ	φ 125 2孔	m 26.0	ヒューム管	φ 1,500	m 55.0	m3/s 0.022				
	緊急放流工	φ 350 1孔	m -									

2 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(第17表-2)

計 画 降 雨	観測機関	・ 徳島地方気象台 福原旭観測所(勝浦郡上勝町大字旭字蔭)
	計画基準雨量	・ 1/200年 確率雨量 106.1 mm/hr ・ 既往最大雨量 97.0 mm/hr S54.9.30 ・ 計画降雨強度 109.6 mm/hr ・ 洪水到達時間 $t_p = 55.54$ 分
	計画根拠	・ 故に計画基準雨量 $= 974.54 \div (\sqrt{55.54} + 1.44)$ $= 109.59 \text{ mm/hr}$

(2) 計画洪水量

(第17表-3)

集面 水積	直接	72.20 ha	合	計
	間接	- ha	72.20	ha
設 計 洪 水 量	計 算 式	$Q = 1/3.6 \times f \times r_t \times A \times 1.2$ $= 21.00 \text{ m}^3/\text{s} \text{ (直接)} + \text{ - m}^3/\text{s} \text{ (間接)}$ $= 21.00 \text{ m}^3/\text{s}$		
	流 出 率	$f = \frac{0.71 \times 0.8 + 0 \times 0.75 + 0 \times 0.55 + 0 \times 0.7 + 0 \times 1 + 0.012 \times 1}{0.722}$ $= 0.80$		
	設計洪水量	$Q = 21.00$ $= 21.00 \text{ m}^3/\text{s}$		

(3) 形式の決定

設計洪水量、現地地形を考慮して「側水路型」とする。

3 堤体補強計画

(1)法面保護施設 堤体上流法面は、水面の変動等による侵食を防ぐためブロックマットを施工する。

(2)漏水防止工 —

4 取水施設改修計画

取 水 工

スライドバルブφ125×2孔とする。

底 樋 工

開削工法により、φ1500にて施工する。

5 管理施設改修計画 —

6 その他関連事項

緊急放流工

スライドバルブφ350×1孔とする。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池 該当なし

(第18表-1)

名称	形式	流域面積(km ²)		位置	提高(m)	提長(m)	提体積(km ²)	基盤地盤地質	貯水量(km ³)		備考
		直接	間接						総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	形式	洪水量(m ³ /S)	備考	取水施設	形式	取水量(m ³ /S)	放流施設	形式	放流量(m ³ /S)		

2 頭首工 該当なし

(第18表-2)

名称	形式	提高(m)	提長(m)			取水位置(m)	取水位置(m ³ /S)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

3 揚水機 該当なし

(第18表-3)

項目 名称	位置	揚水量	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	形式	口径(mm)	台数(台)	形式	動力()	台数(台)	

4 用水路 該当なし

(第18表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (km)			構造	こう配	主要構造物	備考
	事業名	計			総延長	開水路	その他				
計											

5 その他かんがい施設 該当なし

(第18表-5)

項目 施設名	構造	規模	数量	備考

第2節 排水施設

1 排水水門 該当なし

(第19表-1)

項目 施設名	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2 排水機 該当なし

(第19表-2)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

3 排水路 該当なし

(第19表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)			排水量 (m ³ /S)	延長(km)			構造	こう配	主要構造物(箇所)	備考
	事業名				総延長	開水路	その他				
	水田	畑	計								
計											

4 その他排水施設 -

第3節 道路及び索道 -

1 道路

(1)道路の総括表 該当なし

(第20表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長 (m)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2)道路主要構造物 該当なし

(第20表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長(m)	箇所数(箇所)	備考

2 索道 該当なし

(第20表-3)

路線名	項目 延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根 該当なし

(第21表-1)

区分	項目 樹種	樹径 (m)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	備考

(2) 除礫 該当なし

(第21表-2)

区分	項目 対象土層の高さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3) 開墾作業 該当なし

(第21表-3)

区分	項目		面積	工法	備考
	地目	造成項目			

(4) 地目変更 該当なし

(第21表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考

(5) 末端用水路等 該当なし

(第21表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等 該当なし

(第21表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2 土壤改良 該当なし

(第21表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考

第5節 洪水調節施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工 該当なし

(第22表-1)

名称	位置		提 長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	備考
			固定部	可動部	計			
形式	集水面積 (km ²)	提 高 (m)						

(2) 導水路 該当なし

(第22表-2)

項目 水路名	通水量	延長 (m)			構造	こう配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1 堤防 該当なし

(第23表-1)

項目 水路名	形式	延長	構造					平均	最低	備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面			

2 潮止め 該当なし

(第23表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設 該当なし

4 埋立 該当なし

(第23表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理 該当なし

(第24表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準工区	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第24表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等 該当なし

(第24表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第24表-4-1)

区分	面積			集水渠				排水渠				集水渠出口以下の排水施設			備考		
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称		構造	数量 (m/ha)
			計														

(2)心土破碎 該当なし

(第24表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

3 客土 該当なし

(第24表-5)

項目	面積(ha)			客入土量	土取場土量	運搬距離	運搬方法	備考
	事業名							
			計					

4 除礫 該当なし

(第24表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

5 農地保全
(1)防災林 該当なし

(第24表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2)排水路 該当なし

(第24表-8)

区分	項目	延長	流量	構造	備考
		(m)	(m ³ /s)		

(3)浸食防止工 該当なし

(第24表-9)

区分	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第25表)

名称	仁宇のため池				位置	那賀郡那賀町仁宇学原		
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体	遮水シート型	0.7220	11.75	78.0	29,900	4.40	36.0	
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	付帯工	形式	取水量 (m ³ /s)	備考
	側水路型	21.00	13.70			スライドバルブ φ125×2孔	0.022	

2 堤体補強施設

(1)法面保護施設

堤体上流法面は、水面の変動等による侵食を防ぐためブロックマットを施工する。

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手： 令和8年度

完了： 令和12年度

第8章 環境との調和への配慮

(植物)

- ①生息範囲に影響を及ぼさないよう留意する。
- ②工事施工時に影響の及ばない類似環境の箇所へ個体を移植をする。

(魚介類)

- ①施工に伴う減水時に工事の影響のない上流部に流れ込みをせき止めた貯水区域を設け、避難場所を確保する。
- ②外来種については駆除を行う。

3 農用地集団化の方針

該当なし

(第27表-3)

区分 耕地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4 非農用地の換地方法

該当なし

(第27表-4)

区分 耕地区名	用途	非農用地区域の位置の概要	面積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法 該当なし

2 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

(第28表)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の 決定 予定年度	換地処分 予定年度

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第29表)

事業内容	事業種類	事業量	事業費(千円)
	工事費		
	堤体工	1.0式	349,200
	洪水吐工	1.0式	56,500
	付帯工	1.0式	102,500
	小計		508,200
	測量試験費	1.0式	36,400
	用地買収補償費	1.0式	5,400
	小計		41,800
	合計		550,000
工事雑費・事務費		40,000	
総計		590,000	

概算事業費の負担内訳

(千円)

	工事費	工事雑費・事務費	計
国庫補助金	(55.0%) 302,500	-	302,500
県補助金	(34.0%) 187,000	(100.0%) 40,000	227,000
市町村負担金	(11.0%) 60,500	-	60,500
地元負担金		-	
合計	550,000	40,000	590,000

第11章 効用

(第30表)

区分	項目	維持管理費 節減効果	災害防止効果 (農業)	災害防止効果 (一般資産)	災害防止効果 (公共資産)	年総効果 (便益)額	総事業費 (現在価値化)	総便益額 (現在価値化)	総費用総便益比
農村地域防災減災事業	仁宇のため池	▲ 5	5,654	46,347	9,668	61,664	451,217	1,108,971	2.45
	計	▲ 5	5,654	46,347	9,668	61,664	451,217	1,108,971	2.45

第12章 関連する事業 該当なし

(第31表)

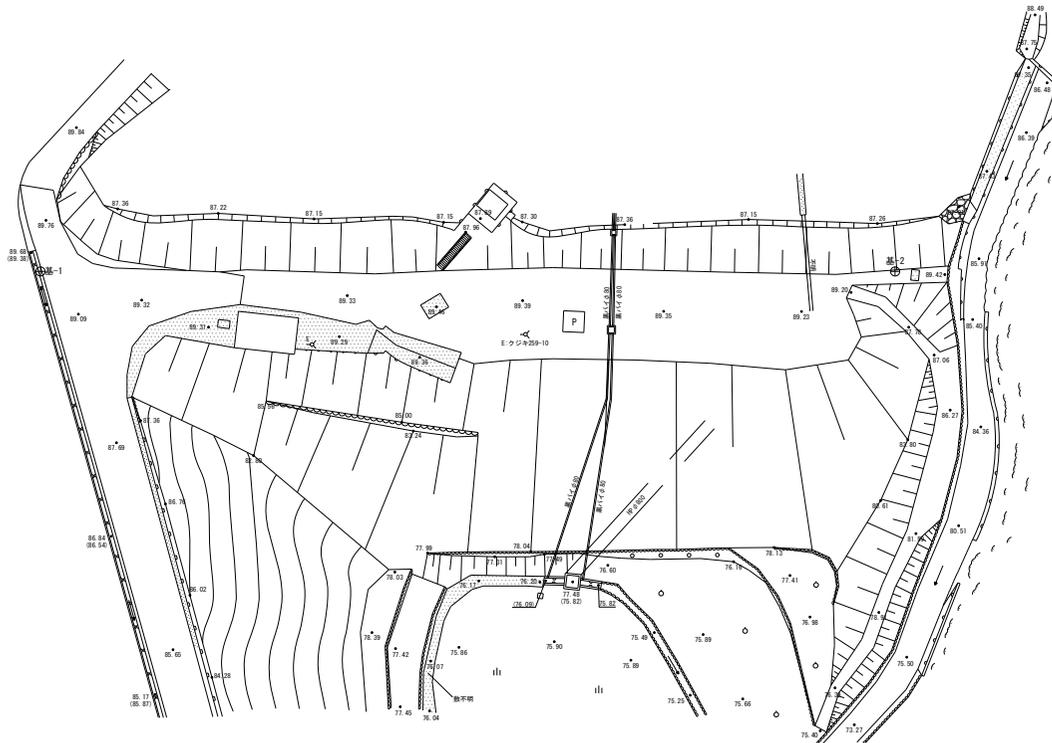
事業名	工期	受益面積	総事業費	本事業との関連性	備考

第13章 現況・計画図面

- 1 現況平面図
- 2 計画平面図
- 3 主要構造図

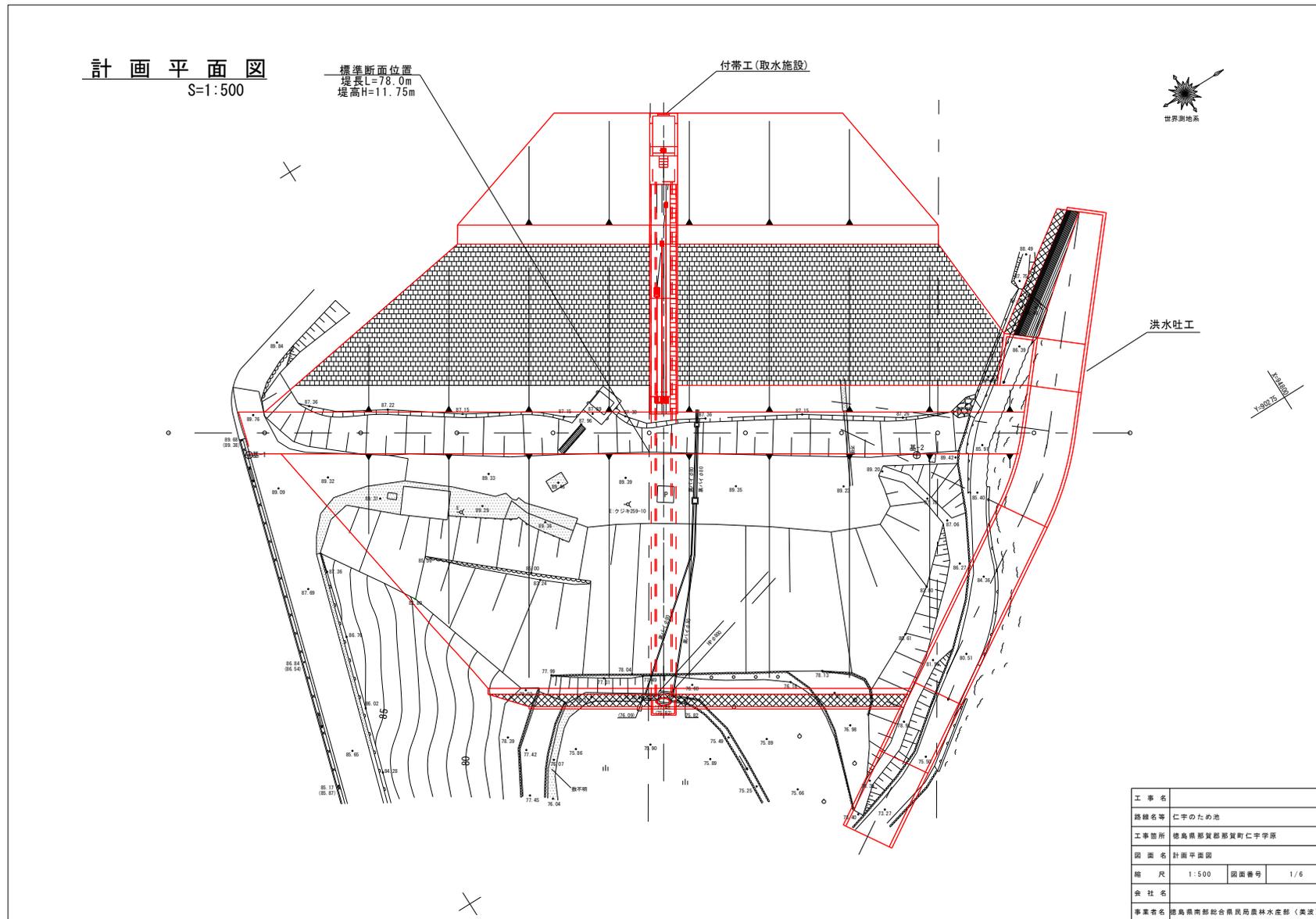
1 現況平面図

現況平面図
S=1:500

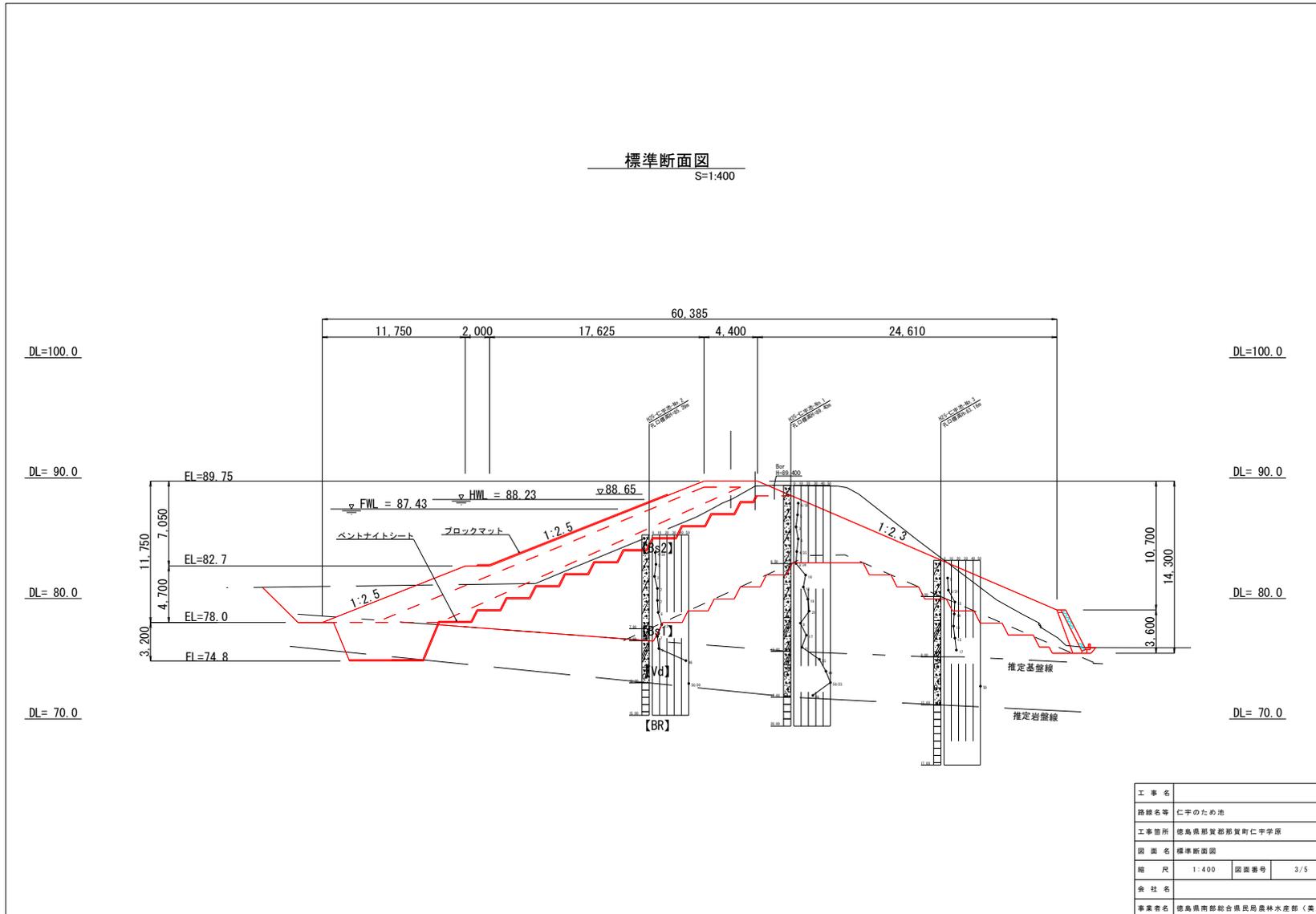


工事名			
路線名等	仁字のため池		
工事箇所	徳島県那賀郡那賀町仁字字原		
図面名	現況平面図		
縮尺	1:500	図面番号	*/*
会社名			
事業者名	徳島県南部総合市民農林水産部(美波)		

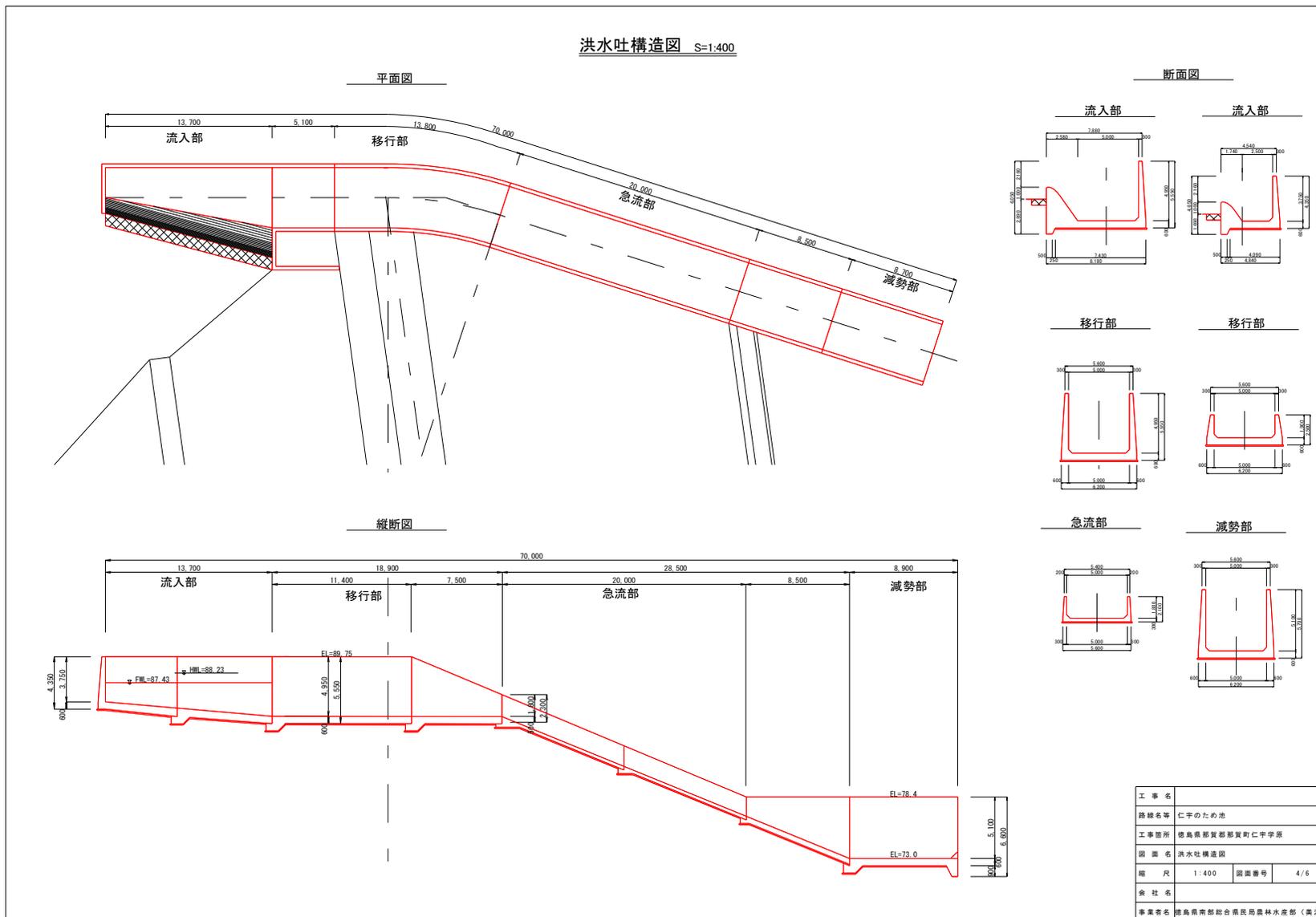
2 計画平面図



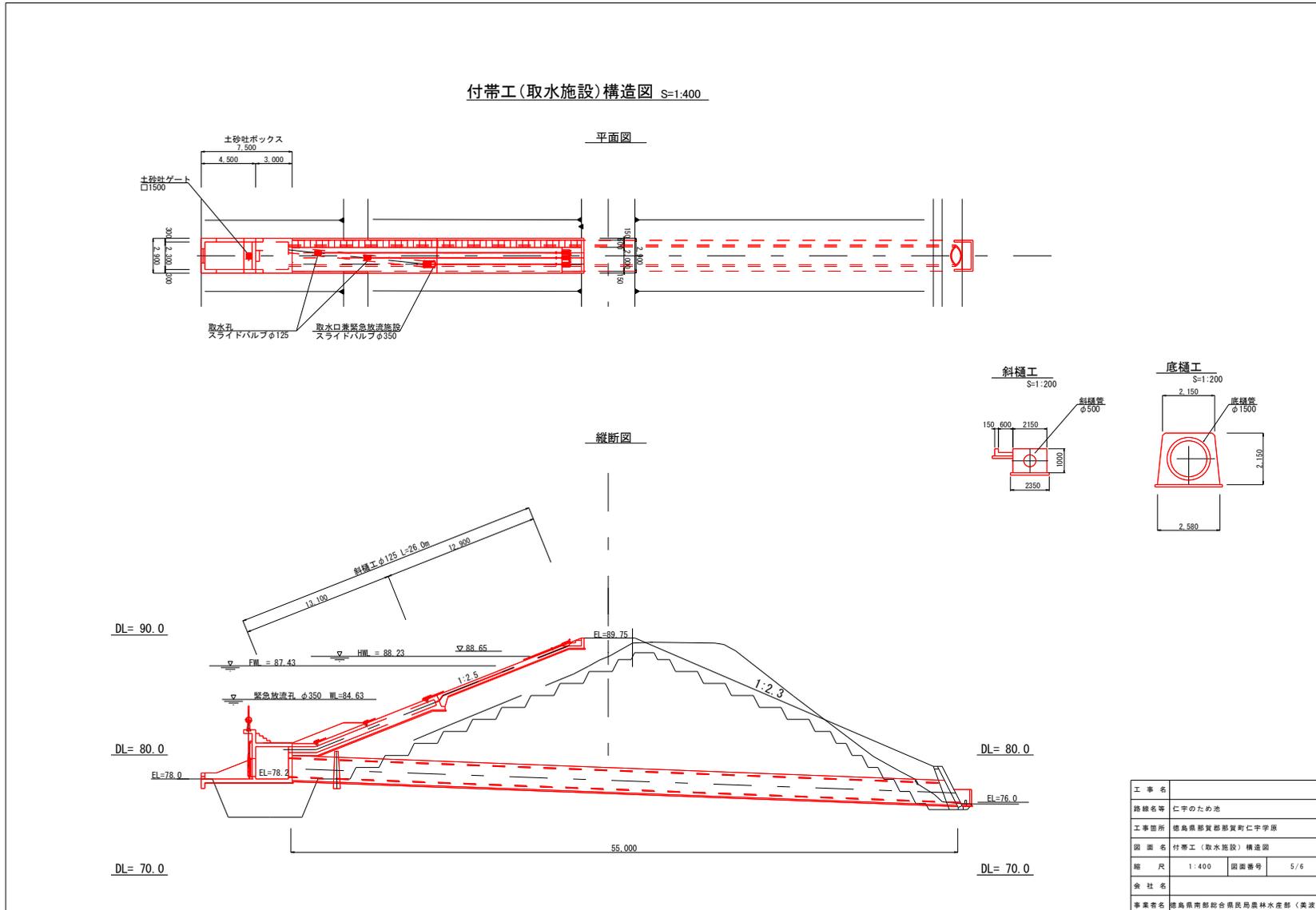
3 主要構造図



3 主要構造図



3 主要構造図



第14章 土地改良施設の管理者及び管理方法

- 1 予定管理者
当該事業により建設される施設は、那賀町が管理する。
- 2 管理すべき施設の種類
農業用ため池(仁宇のため池)
 - ① 堤体

堤高		11.8m
堤長		78.0m
貯水量		36,000m ³
法面勾配	上流	1 : 2.5
	下流	1 : 2.3
 - ② 取水施設工

斜樋			
取水孔	スライドバルブ	内径	125mm
緊急放流孔	スライドバルブ	内径	350mm
取水量			0.022m ³ /sec
底樋			
コンクリート全巻ヒューム管	内径	1,500mm	管長 55.0m
 - ③ 洪水吐工

形式	側水路型
越流幅	13.70m
越流水深	0.80m
排水能力	21.00m ³ /sec
- 3 貯水、放流、配水に関する基本的事項
緊急時の急激な放流は那賀町と連携し、流域住民の周知を図った後に行う。
農業用水としての配水は地域の配水慣行を遵守する。
 - ① 緊急放流施設
緊急時の放流はスライドバルブ(内径350mm)により最大0.31m³/secを排水する。
維持管理のために池を空にする場合は底樋の開閉により行う。
 - ② 洪水吐工
越流堰式の洪水吐は設計洪水量(200年確率雨量による)Q=21m³/secの排水能力を有する。

4 施設管理に要する費用の概算及び負担方法

① 費用の概算

- ・ 管理すべき池名 : 仁宇のため池
- ・ 維持管理費 : 10,000円 (草刈・巡回 909 円/hr × 3 hr × 2 人 × 2 回/年 = 10,000 円)
- ・ 耐用年数 : 80年
- ・ 耐用年数期間の合計額 : 800千円
- ・ 10a当たりの負担額 : 22,222円/10a
- ・ 受益面積 : 3.6ha

② 負担の方法

施設の維持管理費は、那賀町が全額負担する。

③ その他の維持管理方法に関する基本的事項

特になし。